

---

# SPA-8 Stereo Power Amplifier

取扱説明書

**PLAYBACK**  
DESIGNS



この度は Playback Designs ステレオパワーアンプ SPA-8 をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本説明書をよくお読みになり、設置や操作方法を充分にご理解の上、正しくご使用ください。  
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## はじめに

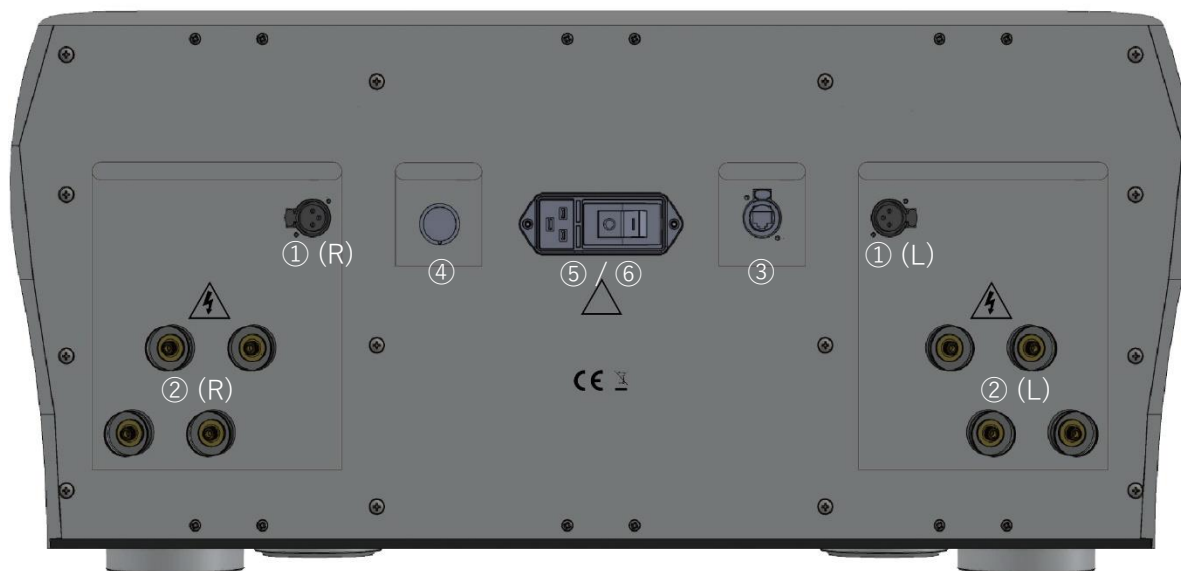
箱から商品を取り出して、中身をご確認ください。

万一不足や損傷がありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

1) ステレオパワーアンプ SPA-8 本体	x 1
2) 電源ケーブル (IsoTek/EVO3 ASC20A/2.0m)	x 1
3) 2P/3P 変換プラグ	x 1
4) 取扱説明書 (本紙)	x 1
5) 保証書	x 1

## 各部説明

### リアパネル



①	<b>ANALOG INPUT (XLR/BLANCED)</b>	XLR バランス入力端子。プリアンプのプリ出力 (XLR) と本機を、XLR バランスケーブルで接続してください。 (Pin1:Ground, Pin2:Hot, Pin3:Cold)。
②	<b>L/R SPEAKER OUT</b>	L/R スピーカー出力ターミナル。スピーカーケーブルの左/右、 (+) / (-) を正しく接続して下さい。バイワイヤリング接続・バナナプラグ/スペードラグ対応。 <b>【注意】</b> 端子には出力時に高電圧がかかります。本機の電源が入っている時に、ケーブルを交換したり、触ったりしないでください。再配線の前には必ず本機の主電源を落とし、電源ケーブルを抜いてください。
③	<b>REMOTE</b>	将来的なネットワーク操作・拡張機能用端子 (RJ-45) ※2021年6月23日 現在未実装 (通常使用しません)
④	<b>VOLTAGE</b>	電圧変更スイッチ <b>【注意】</b> 本機は日本国内の AC 100V 仕様に設定してあります。値を変更しないでください。
⑤	<b>AC INPUT (20A)</b>	電源ケーブル差込口 <b>【注意】</b> 付属の電源ケーブル以外のケーブルを使用しないでください。
⑥	<b>POWER ON/OFF</b>	電源スイッチ (本体主電源)。 <b>【注意】</b> 電源スイッチ (本体主電源) を切る際は、必ず本機をスタンバイモードにしてから行ってください。

## フロントパネル



① ▼ ▲	<p><b>・ Up / Down ボタン</b></p> <p>1. ディスプレイモード選択 (通常駆動時 ※P6 「DISPLAY MODE」 参照)  2. メニュー移動 (セットアップメニュー時 ※ P7 「SETUP MENU」 参照)</p>
② ⚙	<p><b>・セットアップメニューボタン</b></p> <p>1度押すと、セットアップメニューに移行します。繰り返し押すとセットアップメニュー項目を移動します。このモードは、ボタンを 10 秒以上押さないと、自動的に終了します。一部のセットアップメニュー項目の値は、① Up / Down ボタンで変更します (※ P7 「SETUP MENU」 参照)</p>
③ 🗨	<p><b>・ミュートボタン</b></p> <p>スピーカー出力をミュートします。</p>
④ 🔌	<p><b>・スタンバイスイッチ</b></p> <p>下記の電源モード切替を行います。</p> <p>1. <u>スタンバイモード→アクティブ (駆動) モード</u>  本機がスタンバイモードの時 (リアパネルの電源スイッチ (本体主電源) が On の時) に押すと、アクティブ (駆動) モードに移行します。ボタンを押した後、内部チェック/チャージ (ディスプレイに「Charging」と表示されます) 及び起動シークエンスが完了するのに 10 秒以上かかります。</p> <p>2. <u>アクティブ (駆動) モード→スタンバイモード</u>  本機がアクティブ (駆動) モードに押すと、スタンバイモードに移行します。ボタンを押した後、内部チェック/放電 (ディスプレイに「discharging」と表示されます) 及びシャットダウン・シークエンスが完了するのに 10 秒以上かかります。</p> <p><b>【注意】 上記の 1. 「内部チェック/チャージ及び起動シークエンス」と 2. 「内部チェック/放電及びシャットダウンシークエンス」の進行中は、スタンバイスイッチを再度押したり、リアパネルの電源スイッチ (本体主電源) を絶対に切らないでください。</b></p>

## Connect to preamplifier (プリアンプを接続)

1. プリアンプのプリ出力 (XLR) と、本機の ANALOG INPUT (XLR/BLANCED) を XLR バランスインターコネクトケーブルで接続します。

## Connect to Speakers (スピーカーを接続)

1. 各 L/R ch 用 1 組のスピーカーケーブルの赤いケーブルを、スピーカーと+マークの付いた赤い端子に、黒いケーブルをスピーカーと-マークの付いた黒い端子に接続してください。スピーカーケーブルを 2 組用いてバイワイヤ接続も可能です。

## Connecting Mains Power (電源接続)

1. 付属の電源ケーブルを、リアパネルの電源コード差込口に挿入してください。その後、電源コンセントに接続します。必要に応じて 2P/3P 変換プラグをご使用ください。  
【注意】ケーブルを接続または取り外す場合は、必ず本体主電源を OFF にしてください。また長期間使用しない場合も、本体主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。

## Switching On (スイッチ・オン)

1. プリアンプ・スピーカー・電源を接続し、ソース機器・プリアンプの電源が On になっているのを確認します。
2. リアパネルの電源スイッチで本機の主電源を On にします。通常短いビープ音が 1 回鳴ります (スタンバイモード ※ P6 「BEEP CODES」参照)。  
【注意】本機をアクティブ (駆動) モードにする際は、常にソースからの再生を停止し、プリアンプのボリュームをミュート状態まで絞った状態で行ってください。
3. フロントパネルのスタンバイスイッチを押すと、アクティブ (駆動) モードに移行します。ボタンを押した後、内部チェック/チャージ及び起動シーケンスが完了するのに 10 秒以上かかります (ディスプレイに「Charging」～「Checking Input」と表示されます)。正常に起動するとディスプレイに「PLAYBACK DESIGNS」とロゴが表示されます。

## BEEP CODES (ビープコード)

リアパネルの電源スイッチで本機の電源を On にすると、入力電源電圧のチェックを開始し、スタンバイモードに入ります。この再の正常な動作と異常は、一連のビープコードで示されます。

1. **短いビープ音 (1 回)** - 本機が「VOLTAGE」で設定された電圧値と、実際の入力電源電圧との一致を正しく検出しました。
2. **短いビープ音 (3 回)** - 本機の主電源電圧が制限内にありません。
3. **長いビープ音 (6 回)** - 本機が「VOLTAGE」で設定された電圧値と、実際の入力電源電圧との不一致を検出しました。

※2, 3 のビープ音と確認した場合は、入力電源の電圧 (AC 100V)、接続を再確認してください。

**【注意】** 本機は日本国内での使用を前提とし、AC 100V で調整・動作確認検査を行っています。AC 100V 以外での使用はしないでください。AC 100V 以外での使用や日本国外での使用は保証対象外となる場合があります。ご了承ください。

## DISPLAY MODE (ディスプレイモード)

アクティブ (駆動) モード時に Up / Down ボタンを押すと、ディスプレイモードを切り替えます。下記項目の確認ができます。

1. 「**Playback Designs**」 - ログ表示 (駆動中は変化しません)
2. 「**・**」 - ドット (中央) 表示 (駆動中は変化しません)
3. 「**Musical dynamics**」 - 音楽的ダイナミクスの表示。ピアノッシモなどの音楽的な強弱を表示します。
4. 「**Level**」 - 出力レベルの表示。再生中の L/R の出力レベルをゲージで表示します。

**【注意】** 本機は大出力のアンプのため、3.4 の項目は再生レベルによっては変化しない場合があります。

## SETUP MENU (セットアップメニュー)

セットアップメニューボタンを押すと、セットアップメニューに移行します。繰り返し押すとセットアップメニュー項目を移動します。このモードは、ボタンを10秒以上押さないと、自動的に終了します。2.

「Serial number」, 4. 「Status」の項目は、Up / Down ボタンで変更します。

1. 「**Display brightness**」 - 1～31 でディスプレイの明るさを調整します。Up / Down ボタンで値を変更します。
2. 「**Serial number**」 - シリアル No を表示します。Up / Down ボタンを押すと、ファームウェアバージョンを表示します。
3. 「**Time of operation**」 - 本機の通算駆動時間を表示します。再生中の L/R の出力レベルをゲージで表示します。  
※この使用時間は、組み立て完了後の動作チェックやランニングテスト、ナスペックでのチェック時間も含まれています。そのためご購入時にある程度経過していますが正常な値です。ご了承ください。
4. 「**Status**」 - ステータス。修理点検用の L/R ch のステータスコードを表示します（通常使用しません）。

## STATUS MESSAGES (ステータスメッセージ)

本機は、プロテクション・チェックシステムを備えており、通常の駆動時には以下の様々なステータス情報がディスプレイに表示されます。

4. 「**Trafo switch-on / off**」 - 電源トランスのオン/オフ中。
5. 「**Charging**」 - 電源コンデンサチャージ中 (スタンバイモード→アクティブ (駆動) モード移行中)
6. 「**Discharging**」 - 電源コンデンサ放電中 (アクティブ (駆動) モード→スタンバイモード移行中)。
7. 「**Checking input**」 - 入力チェック。入力信号の有無とボリュームレベルをチェックします。
8. 「**Checking DC**」 - DC チェック。出力に DC オフセットがあるかチェックします。
9. 「**Checking Speaker**」 - スピーカーチェック中。スピーカーとケーブルのインピーダンスをチェックし、ショートが発生した場合に本機が駆動状態になるのを防ぎます。
10. 「**...muted...**」 - スピーカー出力ミュート中。
11. 「**Goodbye!**」 - シャットダウンメッセージ (アクティブ (駆動) モード→スタンバイモード移行終了時)
12. 「**Turn input down!**」 - 高入力レベルの警告 (スタンバイモード→アクティブ (駆動) モード移行中)。入力のレベルが高いため、本機が入力のレベルが下がるのを待機している状態です。これは安全上の理由による保護機能です。プリアンプのボリュームを絞ってください。



## ERROR MESSAGES (エラーメッセージ)

本機は、電源投入時にセルフチェックを行い、動作中も内部プロセッサが、各動作状況を常に監視しています。アンプ内部、スピーカーやケーブルの接続など何らかの異常が見つかった場合、問題の特定に役立つ以下の様々なエラーメッセージがディスプレイに表示されます。

1. 「**High temperature**」 - 本機内部温度が高過ぎる状態です。アンプを停止し、冷却してください。また、本機のキャビネットのサイドに位置する通気孔が塞がれていないか確認してください。
2. 「**Input signal hi**」 - 入力信号が大き過ぎる状態です。プリアンプのボリュームを下げるか、ソース機器の再生を停止してください。
3. 「**Rail voltage low**」 - 入力電圧が低過ぎる状態です。電圧設定を確認してください（リアパネル④「**VOLTAGE**」）。また、コンセントに十分な電力が供給されているか確認してください。
4. 「**High output current**」 - スピーカーの出力電流が大き過ぎる可能性があります。スピーカーケーブルがショートしていないか、またスピーカーに損傷がないか確認してください。
5. 「**x.xL !RES! y.yR**」 - スピーカーケーブルがショートしています。スピーカーケーブルがショートしていないか、またスピーカーに損傷がないか確認してください。x.x と y.y の値は、L/R ch の測定されたインピーダンス ( $\Omega$ ) 値です。0.5 $\Omega$  以下の値を測定すると、本機は起動しません。
6. 「**Too many clips**」 - クリップ発生。出力にクリップが多過ぎることを検出し、スピーカーを保護するためにミュートしている状態です。ボリュームを下げてください。
7. 「**Power protect**」 - 本機のパワーステージの出力が限界に近づき、スピーカーを保護するためにミュートしている状態です。スピーカーの接続とスピーカーに損傷がないか確認してください（スピーカーのインピーダンスの値が低過ぎる可能性があります）。
8. 「**Current protect**」 - 本機のパワーステージの電流が限界に近づき、スピーカーを保護するためにミュートしている状態です。スピーカーの接続とスピーカーに損傷がないか確認してください（スピーカーのインピーダンスの値が低過ぎる可能性があります）。
9. 「**Power outage**」 - 入力 AC 電源の停電または電圧低下を感知し、スピーカーを保護するためにミュートしている状態です。電源ケーブルの接続を確認してください。
10. 「**DC protect**」 - 出力の DC 電圧が高すぎて、スピーカーを保護するためにミュートしている状態です。プリアンプが正しく動作しているか（DC オフセットが発生していないか）を確認してください。

## CLEANING (クリーニング)

本機のシャーシが汚れた場合、清潔で柔らかい布やマイクロファイバークロスで拭いてください。汚れが取りづらい場合、薄めた窓ガラス用洗剤や少量のエステール/WD-40 を布/クロスに染み込ませて拭いてください。その後、シャーシ全体が乾くまで力を入れずそっと乾拭きします。

**【注意】** シャーシに直接溶剤をスプレーしないでください。

## SPECIFICATIONS

出力	1,600W×2 (4Ω) , 800W×2 (8Ω) ※バイワイヤリング接続対応
周波数特性	10 – 100 kHz (-3dB)
S/N 比	98dB (1W, 8Ω, 20Hz-22kHz)
THD+N	0.00054% (1kHz, 400W, 8Ω)
入力系統	バランス(XLR)×1
入力感度	1.7 Vrms
入力インピーダンス	44.7kΩ
電源コンセント	IEC 3P, 20A×1
システムコントロール	REMOTE/RJ-45×1
消費電力	< 1W (スタンバイ時) / 300W (無負荷時) / 3000W (最大)
サイズ	W730 × D870 × H340 mm
重量	137.0 kg

※ Playback Designs 製品の XLR 端子は、2 番 HOT となっております。

Playback Designs は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。  
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。  
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

## 保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。  
詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。  
修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **Playback Designs** 日本輸入総代理店 株式会社ナスペックまで



株式会社ナスペック  
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5  
HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510  
FAX : 058-268-7118  
 : 0120-932-455  
E-mail : [support@naspecaudio.com](mailto:support@naspecaudio.com)

2021.6.24 (Ver 1.00)